

施策2 生涯学習の推進

基本事業1 学習環境の充実

基本事業名	対象	意図	成果指標				進捗度とその理由等	
			項目	単位	R4実績	R5実績		R7目標
2-1 学習環境の充実	市民 生涯学習施設	学習環境、活動の場が整っている。	①「生涯学習のための施設が整備されていて利用しやすい」と答えた市民の割合(市民意識調査) ②自主学习団体数 ③市民一人が1年間に社会教育施設を利用した回数	①% ②団体 ③回	① 21.5 ② 83 ③ 5.2	① 27.7 ② 124 ③ 5.5	① 40.0 ② 110 ③ 4	B 自主学习団体数や市民一人当たりの年間社会教育施設利用回数は目標値を超えているが、市民意識調査における施設整備に対する満足度は低い。 経年劣化や施設利用のコロナ禍からの回復に伴い要望が増加したものと考えられることから、引き続き、施設設備の計画的な更新を行うとともに、利用者満足度調査の意見等により改善を進め、施設の利用環境の向上を図る。

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標				進捗度とその理由	今後の方向性等	
				項目	単位	R4実績	R5実績			R7目標
2-1-1 三陸公民館施設管理・運営事業	市民、三陸公民館	安全・快適に学習活動が行える。	<ul style="list-style-type: none"> 市の業務 施設利用状況の集計業務、使用料の集計収納業務、指定管理者との連絡調整等、施設設備の修繕等 指定管理者の業務 貸館業務(受付、使用許可、使用料徴収)、施設の維持管理等業務(管理人業務、清掃、各種設備の保守点検等) 	①三陸公民館利用者数 ②施設不具合件数 ③施設不具合対応率	①人 ②件 ③%	① 11,698 ② 4 ③ 75	① 10,779 ② 3 ③ 67	① 6,000 ② 4 ③ 75	A 指定管理者により施設が適切に管理されている。また、施設の不具合にも可能な限り対応し、利用者の安全確保を図っている。 令和5年度から毎週月曜日を休館日とし事業費を削減した。 B 指定管理者により施設が適切に管理されている。また、施設の不具合にも可能な限り対応し、利用者の安全確保を図っている。 令和5年度から毎週月曜日を休館日とし事業費を削減した。	● 今後も適切な施設運営を行うとともに、市民協働のまちづくりの進展に伴い、施設のあり方や減免制度の見直しを図る必要がある。
2-1-2 図書館運営事業	市民	安全で快適に図書館を利用できる。	<ul style="list-style-type: none"> 市の業務 図書館協議会の開催、施設・設備の維持管理業務、指定管理者の監督等 指定管理者の業務 図書館の運営全般、移動図書館車の維持管理等 ※R5 4月～7月まで空調設備更新工事のため休館	①図書館資料の貸出点数 ②図書館資料の貸出者数 ③各種サービスの利用回数	①点 ②人 ③回	① 133,430 ② 23,676 ③ 4,441	① 94,148 ② 16,892 ③ 3,322	① 137,392 ② 24,587 ③ 3,183	B 指定管理者制度の導入により、民間の有する専門的知識やノウハウを活用し、図書館サービスの向上と効率的かつ効果的な施設運営につながっている。 インターネットの普及、人口減少等により、利用者数は減少傾向にある。 C 指定管理者と連携し、サービスの向上に努めながら、本に触れる機会の提供を継続し、さらなる読書推進を図る。 指定管理者による施設運営が適切に行われているか監督・指導していく。	○ 指定管理者と連携し、サービスの向上に努めながら、本に触れる機会の提供を継続し、さらなる読書推進を図る。 指定管理者による施設運営が適切に行われているか監督・指導していく。
2-1-3 博物館施設改修事業	<ul style="list-style-type: none"> 博物館利用者(市民、碓氷海岸を訪れる観光客) 博物館施設、設備 	快適な環境で気仙地域の自然と文化を学ぶことができる。	施設設備の改修、整備、大規模な修繕 ※R5 常設展示(荒れ狂う海コーナー)改修	施設設備の改修済件数	件	2	1	1	A 常設展示(荒れ狂う海コーナー)を改修することにより、学習環境の充実を図ることができた。 C 市公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づき、計画的な施設改修を行い、施設の維持と博物館機能の向上を図る。	○ 市公共施設等総合管理計画及び個別計画に基づき、計画的な施設改修を行い、施設の維持と博物館機能の向上を図る。

基本事業2 学習機会の拡充

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R4実績	R5実績	R7目標	
2-2 学習機会の拡充	市民	・学習情報が容易に入手できる。 ・多様な生涯学習機会に恵まれている。	①「生涯学習に関する情報が十分提供されている」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①%	① 19.7	① 24.8	① 40.0	B 市広報紙、HP、SNS等を通じて生涯学習の情報発信を行いつつ、情報化・国際化を踏まえた学習機会の提供に取り組んだ結果、工事により一時休館となった図書館を除き、施設利用者や講座参加者が増加している。 指定管理者制度の導入により、民間事業者の知見を活かし、利便性の向上や新規事業の検討を行った。 引き続き生涯学習情報について情報を容易に得られるよう、効果的な情報発信を行うとともに、市民ニーズに即した魅力ある学習機会の提供、世代に応じた講座等の実施に取り組む。
			②公民館講座延べ参加者数	②人	② 2,537	② 3,286	② 5,000	
			③市民1人当たりの図書館資料貸出点数	③点	③ 4.0	③ 2.9	③ 4.1	
			④博物館入館者数	④人	④ 6,298	④ 7,052	④ 8,400	
			⑤市民芸術祭観覧者数	⑤人	⑤ 4,686	⑤ 5,398	⑤ 7,000	
			⑥市民文化会館利用者数	⑥人	⑥ 42,443	⑥ 33,496	⑥ 84,000	

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名称	単位	R4実績	R5実績	R7目標		
2-2-1 生涯学習情報の提供事務	市民	生涯学習意欲の向上を図る	・生涯学習に関する情報(学習機会、学習グループ、実践者、社会教育施設等)の収集および市民への周知 ・生涯学習いきいきカレンダーの編集・市ホームページへの掲載 ・生涯学習情報の市広報への掲載 ・市ホームページによる各種生涯学習情報の提供	生涯学習に関する情報が十分に提供されていると思う人の割合(市民意識調査)	%	19.7	24.8	40.0	C 市広報紙や市公式ホームページ、市公式X(旧Twitter)及び市公式Facebookを活用して情報を発信した。 新たな情報提供ツールの円滑な促進の一助とするため、生涯学習関連事業において市民IT講座を実施した。 令和4年度から「生涯学習推進のつどい」を本事務に統合したことに伴い、今後も生涯学習情報の積極的な発信に取り組む必要がある。	● IT技術の進展等、社会情勢の変化に合わせた情報提供の手法、媒体の活用について、さらに検討する。 生涯学習関連事業等においてIT関連の学習機会の提供を継続し普及を図りつつ、ITツール等に対する情報提供ツールとしての、より積極的な広報紙の活用を模索する。
2-2-2 市民講座開催事業	・明治大学連携講座及び市民IT講座:市民 ・ふるさと教育講座:市内の中学生	・明治大学連携校講座は、多様な分野にわたり、広く学ぶ。 ・市民IT講座は、情報通信機器を理解し、社会適応力の向上を図る。 ・ふるさと教育講座は、若者の郷土への誇りと愛着を醸成し、将来の地域を担う人材を育成する	新たな生活様式を踏まえ、情報化、国際化への対応やリカレント教育の視点を取り入れるなど、市民の学習ニーズや地域課題に対応した講座を開催する。 ※R5 明治大学連携講座(全2回2講座)、市民IT講座は総務省事業を活用した民間主導による講座を地区開催(綾里・越喜来・吉浜、全2回)及び中央開催(カメリアホール・三陸公民館、全5回)、ふるさと教育講座は市内4中学校で実施。	①延受講者数 ②満足度の高評価比	①人 ②人	①326 ②94	①1,032 ②97	①300 ②80	A 市民の多様なニーズの把握に努め、これまでの事業に加え、大学や国等と連携した事業を行うなど、魅力ある学習メニューを提供し、多くの受講者から高評価を得ている。 令和5年度から新たに開始した市内の中学生を対象とする「ふるさと教育講座」により、郷土の歴史、文化、自然及び産業などに関する学習機会を提供し、中学生の郷土愛の醸成につなげることができた。	● 仕事をしている若年層・壮年層の市民が受講しやすきよう開催日時等の見直しを行うとともに、ICTやDXを活用し、自宅等で気軽に講座に参加できるようにモート講座を模索する等、受講者に配慮した講座運営に取り組む。

基本事業3 学習活動の促進

基本事業名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R4実績	R5実績	R7目標	
2-3 学習活動の促進	市民 芸術文化団体	活動の成果を発表する。	①市民芸術祭出品数	①点	① 2,325	① 2,396	① 3,500	B(文化・芸術を除く) コロナ禍の収束に伴い、市民の学習活動が活発化したことにより、地区公民館の催事件数が増加した。 地区ごとに取り組む学習活動の円滑な実施を支援し、住民の主体的な学びを推進する。
			②市民芸術祭出演者数	②人	② 2,100	② 2,300	② 3,500	
			③地区公民館催事発表件数	③件	③ 7	③ 8	③ 11	

事務事業名	対象	意図	事業内容	成果指標					進捗度とその理由	今後の方向性等
				名称	単位	R4実績	R5実績	R7目標		
2-3-1 社会教育関係団体 活動支援事業	社会教育関係団体	自主的な活動を充実、継続させる。	・市地域婦人団体連絡協議会や市PTA連合会事業への協力、補助金の交付 ・大船渡ユネスコ協会への一部事務支援	①主催事業数	①事業	① 6	① 6	① 6	A 社会教育団体への支援を行い、社会教育活動の促進を図っている。 補助金交付団体では、自主的な活動の充実や継続に努めている。	● 市の各種団体の支援施策の統合を含めた支援体制と補助金の在り方について検討を進める。
				②補助金額	②千円	② 200	② 200	② 200		

施策2 総括

施策名	対象	意図	成果指標					進捗度とその理由等
			項目	単位	R4実績	R5実績	R7目標	
2 生涯学習の推進	市民	主体的に学ぶことを通じて自己実現を図る。	①「日頃、何らかの学習活動に取り組んでいる」と答えた市民の割合(市民意識調査)	①%	① 26.8	① 29.0	① 40.0	B(文化・芸術を除く) 市民意識調査では、「何らかの学習活動に取り組んでいる」市民の割合及びその成果を活かしている市民の割合が増加している。 生涯学習は、従来の社会教育に加え、地域におけるコミュニティや防災対策といった多様な分野の学習プログラムを取り入れている。 市民の学習意欲をさらに促進するため、ニーズに応えた学習機会を提供するとともに、学習の成果を生かす場の創出に努める必要がある。
			②「日頃、学習活動に取り組んだ成果を活かしている」と答えた市民の割合(同上)	②%	② 48.1	② 53.9	② 60.0	
施策の方向性(重点項目、課題等)								
<ul style="list-style-type: none"> ・社会教育施設の計画的な機能改善と適切な維持管理による生涯学習環境の充実 ・広報、SNSを活用した生涯学習関連情報の効果的な発信 ・情報化・国際化やリカレント教育(社会人の学び直し)等の視点・観点を意識した学習機会の提供 ・体験学習プログラム等幅広い世代から関心と呼ぶニーズに沿った魅力的な学習プログラムの提供 ・地域におけるコミュニティ・防災活動拠点の機能強化 								